

第5回 品川区教育振興基本計画策定委員会 会議録（議事要旨）

日 時：令和7年2月28日（金）15:00～16:00

場 所：品川区役所第二庁舎8階 教育委員室

出席者：

委員	(出席委員) 樋口委員長、鞍馬副委員長、市川委員、松本委員、吉田委員、加藤委員、 和田委員、外山委員、江藤委員、石黒委員、丸山委員、薄木委員 (欠席委員) 金子委員、宮崎委員、野口委員
事務局	伊崎教育長、米田教育次長、舩木庶務課長、荒木学校施設担当課長、 柏木学務課長、中谷指導課長、丸谷教育総合支援センター長、 唐澤特別支援教育担当課長、河内品川図書館長、齊藤統括指導主事、 升屋統括指導主事
その他	庶務課庶務係 担当者2名、策定支援業務受託事業者 担当者2名

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 議事

品川区教育振興基本計画（案）の決定について

【議事概要】

前回会議で得られた委員意見に基づき修正した計画（案）および概要版（案）を提示のうえ説明し、原案のとおり決定するとともにデザインについては事務局へ一任とする旨委員会の承認を得た。

また、合わせて修正を行ったパブリックコメント回答案についても説明し、原案のとおりとする旨委員会の承認を得た。

<主な意見>

(委員質疑)

計画（案）P.29、方針5で使用する「職業実践力育成」は児童・生徒向けに使用する

る言葉ではないように感じるので「将来設計能力」へ置き換えるのはいかがか。

(事務局回答)

ご指摘の箇所について、国の第4期教育振興基本計画においては今後5年間の目標として「確かな学力の育成、幅広い知識と教養・専門的能力・職業実践力の育成」を掲げるほか、都の教育ビジョンにおいても同様の要素が含まれている。「職業実践力育成」という言葉は、品川の子どもたちの可能性を引き出すといったような本計画の理念にも合致していると考えます。従って、原案どおりでご承認頂きたい。

(委員意見)

計画(案)P.33、方針6における手法の上段、「学校ごとの品川コミュニティ・スクールの充実」とあるが、あえて「学校ごとの」を加えた点に疑問を感じる。学校ごとの充実は大切だが、もう少し広い地域ブロックでとらえても良いのではないかと感じた。

4. 委員振り返り

(委員)

当初から細かな議論がなされ、きちんとした計画を教育委員会に提案することができたと思う。特にウェルビーイングの考え方については、これまで理解が進んでいなかったが、本計画では各ご家庭で理解を進めるにあたり具体的な表現でお示しすることができたのではないかと感じる。計画を進め、良い成果が出せるよう祈っている。

(委員)

こういった場で皆様と一緒に勉強し、様々なことを知ることができて良かった。また、私自身も子育てをする中で思ったことについて、理解が進んだ。

(委員)

区の計画策定に携わることができて非常に貴重な体験をすることができた。個人的にも、この一年をとおして、未来を担う子どもたちの教育にさらに興味を抱くことができるようになった。自分が小さかった頃はあまり感じていなかったが、こうやって大人の方々が自分たちのため、未来のために考えていることに改めて気づき、自らも参加することで、恩返しできたと感じる。

(委員)

会議では様々な意見を言わせていただいた。品川区の教育に関わるようになり、これまで自分の思いだけで進んできたところもあり、それだけで良いのか、品川区の教育が目指す目標に合致しないといけないのではないかとずっと思ってきた。しかし、今回計画の策定に参画し、その目標がはっきりした。それにより、色々な活動ができる区民の方々も多くいることと思う。皆さんと一緒に一つの目標をまとめられたことをとてもありがたく思う。

(委員)

今回作成した「品川区版 学びの羅針盤 2030」など、とても良い取り組みなので、ここで終わらずに保護者や子どもの教育に関わるすべての人たちに伝わるような情報発信に知恵を絞っていただきたい。一年間、有意義な時間だったと思う。

(委員)

ウェルビーイングという言葉について、皆が心身ともに健康であり、社会的に認められている状態だということを自分の言葉で子どもたちにも伝えていけたら良いと思う。また、「子どもたちの笑顔でつながる共生社会」というビジョンは、子どもたちの笑顔が、先生と子どもの間、親と子どもの間のみでは成り立たず、周りの地域をはじめ社会全体が笑顔であることによって実現するものであるといった内容が良く表現できたと思う。共生、平等、みんなで支えられるような社会をつくっていけるよう、微力ながらもウェルビーイングとはどういったものなのかを色々な人と語りながら伝えていければと思う。

(委員)

保護者として参加したが、子どもがまだ幼稚園と小学校2年生といったこともあり、視野が狭かったと感じた。また、私自身も、子どもにとって何を与えてあげたら幸せにできるのだろうか、この先に何が必要で何が大切なのか、というのを個人的にはよく考えているが、子どもは家庭の中だけで育てられるものではなく社会全体で育てていくものなので、区の方向性の決定に参画することができ、ありがたいことだと思う。

(委員)

計画として検討結果が一つの形になったことが良かった。コロナ禍を経て、何をどのように目指すのかをしっかりと示す計画が完成したが、反面、今後に向けてどのように広めていくのか、どのように成果を出していくのかを考えると、ちょっと大変だが面白いと思う。様々な場所で計画が示されると、今度はその説明責任があると考えている。

(委員)

「品川区版 学びの羅針盤 2030」の中で幼児教育と義務教育の円滑な接続を明確なものとし、幼児教育が土台となりその後の教育へと続いていくことの重要性を皆様と共有することができた。幼稚園は子どもが初めて出会う学校であり、文部科学省の管轄で教育委員会の中に位置付けられていることから、この接続をこれからも実践の中でしっかりと積み重ねていきたい。

(委員)

「品川区版 学びの羅針盤 2030」では幼児教育が土台にあるということが明確になりとても嬉しく感じる。策定にあたりどれだけ力になれたかは分からないが、私自身にとっての学びになった。計画における2つめの柱「誰一人取り残さない、きめ細やかな教育」に特に関心があるので、その実現に向け頑張りたい。

(委員)

話題にあがったように、幼児教育が土台であるといった点など、これまでの会議の中で、自分自身も同じように共感したことを思い出す。それから施策推進の3つの基盤についても、今まで品川区が長年実践してきたことを前提とし、今回示したウェルビーイングの考え方に続いていることがより明確になり、皆さんと一緒に作り上げてこのような形になったことに対し私自身も喜びを感じている。私はビジョンの中で「みんなのウェルビーイングを目指して」というフレーズを加えたところがとても良いと思う。

ウェルビーイング教育など、品川区では時事的なことや教職員の方々が日々思っ

いることに對し、あえて正面から取り組んでいくことを示したことに意味があるのではないかと思う。

(委員)

品川区の場合、実践している取り組みが非常に画期的であることが長く続いており、実践内容から逆算して検討することが、結果的にこの計画の品川らしさにつながっていくのかなと考えながら参加した。

委員の皆様からのご発言もありましたように、改めて子どもたちにとってのウェルビーイングとは何かと考えた時に、学校に來たいと思うことがまずは大事なのかと思った。コロナ禍に行った色々なアンケートの中に「学校に行きたかった」、「学校が一時中止になって、また登校できて良かった」という声があったのはとても救いだったというか、先生方のご努力がその言葉に集約されていると思う。

それから学校に來て何かをすることは当然のことではあるのだけれども、そこに生きがいとか、やりがいとか、楽しいなとか、意義をどれだけ盛り込んでいけるかが教育の腕の見せ所になる。授業をどうすると子どもが楽しいと思うのか、やりがいがあるのかっていう、その部分をどういう形で組み込んでいけるかが結果的にはウェルビーイングの姿なのかなと思う。

今回策定した教育振興基本計画を活用し、いかにして具体的な施策展開を図るかが、これからの学校行政の仕事になっていく。

ウェルビーイングをどういうふう to 実現するのか、具体化するのかということは、これから一緒に考えていく必要がある。もちろん、冒頭申し上げたようにこれが初めての教育振興基本計画なので、国・都の動向に對應する形で外的にも内的にも次の基本計画の改定につなげていきたいと思う。

5. 教育長より

(教育長)

本計画案では『「子どもたちの笑顔でつながる共生社会」～みんなのウェルビーイングを目指して～』というビジョンのもと、これからの品川区の教育が目指すべき方向性が明確に示されている。これは子どもたち一人ひとりが主体的に幸せや生きがいを感じて生きること、それとともに地域や社会全体のウェルビーイングの向上を目指すという、これからの社会において大変重要な理念を示したものである。この計画案に基づいて、これから具体的な施策の展開を図っていく。

土台としての幼児教育とこれまで品川が培ってきた基盤を踏まえ、「品川区版 学びの羅針盤 2030」を活用しながら、基本的な三つの柱と 12 の方針に基づく取り組みを着実に進めていくとともに、保護者の皆様、地域の皆様、教育関係者の皆様、それから児童生徒、主体となる子どもたちにもこの計画を十分に知っていただくよう周知していきたい。学校、教育委員会はもちろん、皆様と力合わせて子どもたちの笑顔あふれる社会、みんなのウェルビーイングを目指してこの計画の実現に向けて全力で取り組んでいく。

委員の皆様には引き続き品川区の教育の発展にお力添えいただければと思う。

6. 今後の予定

7. 閉会